



この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

# YOUR

令和2年 一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第79号



春は確実にやってきたのに、コロナウイルスの大嵐が吹き荒れ、お花見どころではなくなってしまいました。来年はゆっくり花見ができる事を祈ります。

相模原事件のその後  
あの悲惨な事件から四年の月日が経とうとしている中、ようやく見えてきた様々な課題の検証が少しずつ始まりました。  
私たち育成会としての義務としてより深く当たり前に社会に参画していく共生社会の実現に向けて、努力を重ねて行く事の大切さを学ばされました。

法的な事は制度にお任せするとして、私たち親が出来ることは、社会の一員として違和感無く普通に生活が出来る社会をめざすために、地域との繋がりは不可欠と感じます。自治体をはじめ、民生委員さんや近所さんとの繋がりは、とても大切なことであり、共生社会の原点と思われます。

人で繋がるのは中々難しい状況もあるかと思われます。そんな時に育成会としてきっかけになる会合等、企画をしていきたいと思つておりますので、よろしくお願ひ致します。

加藤



■かかりつけ医療機関■
■わたしの状況■
<input type="checkbox"/> 既往歴があります。 <input type="checkbox"/> 発作があります。 <input type="checkbox"/> アレルギー反応あり。 <input type="checkbox"/> 服薬しています。 <input type="checkbox"/> 会話ができない。 <input type="checkbox"/> その他
■私の苦手なこと■
<input type="checkbox"/> 大きな声が苦手です。 <input type="checkbox"/> 体に触られることが苦手です。 <input type="checkbox"/> 他の
■お願いしたいこと■
<input type="checkbox"/> 車両で伝えてください。 <input type="checkbox"/> 手話で伝えてください。 <input type="checkbox"/> 簡単な言葉で説明してください。 <input type="checkbox"/> その他

あなたの支援が必要で <b>ヘルプカード</b> 一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 E-mail・FAX 048-654-7763
■わたしの情報■
名前 _____ 住所 _____ 生年月日 年 月 日 疾患名・傷病名 血液型(A・B・O・AB)
■緊急連絡先■
施設名 _____ 電話番号① _____ 電話番号② _____

会員の皆様にお配りした「ヘルプカード」は困った時にまわりの人に助けてほしいことなど書き込むカードです。書いたものをカードケースに入れて身につけたり、服やカバンに縫い付けたりして利用してください。障害のある人が親や保護者と別々になった時など、ヘルプカードを見せて助けてもらいます。

テレビでは、感染者が何名、重症者が何名との報道を見聞きするたびに、不安の中で生活するだけで精一杯でした。未知の最強と言われるウイルスに、襲われて世界が恐怖の中にいます。ワクチンは何時で生きるのか、何時になつたら元の生活に戻れるのか私たちの出来る事、マスクや手洗い等を守っていきましょう。

阿久津

国や地域から発表される外出制限に、経験したことがないまま対応していかなければならず、皆さんのご家庭でも、感染の説明をしても理解できない子どもに、施設はお休みなのでなるべく外出しないで家で過ごすようにと、家族で工夫して我慢の生活をしていました。

自宅待機となりました。

明るい通りコロナウイルスの影響により、全ての活動が長い間止まってしまいました。通所している施設も閉鎖状態になりました。

感染しない・むせないよのこ

発行 一般社団法人  
さいたま市手をつなぐ育成会  
代表理事 加藤 シゲヨ  
〒330-0080  
大宮ふれあい福祉センター内  
TEL/FAX 048-654-7763  
E-mail sc-your@bz03.plala.or.jp  
ホームページ http://www.saitamashi-ikuseikai.org/  
編集 広報委員会  
定価 五十円 (会費に含む)

本来ならば四月に発行予定でしたが、コロナウイルスによる中断で頂いた原稿もそのままになりました。家での生活だけで精一杯になり、ざわざわとした気持ちの中でパソコンを開いて原稿に向かう気持ちになれず、時期が大分ずれ込んでしまいました。報告という形での発行になりました。

お詫び申し上げます。

村上 明様 [浦和区] 永眠  
福井 清二様 [浦和区] 永眠  
平 スミ様 [北区] 永眠  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## ☆編集後記☆

本報

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]  
**株式会社ジェイアイシー**  
本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビル2号館2F  
ホームページ www.jicgroup.co.jp

[生命保険引受け保険会社]  
**FWD富士生命保険株式会社**

[所属信託会社]  
**みずほ信託銀行株式会社**

登録No.FWD-C1549-1806

## 未来あんしんサポート

**未来あんしんサポート**® 「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です  
親なきあとのこと... 障がいのあるこの子がお金の管理ができるか心配...  
お考えですか?

この子が経済的に困らないようにしてあげたい。  
この子への想いを誰かに引き継ぎたい。

お問い合わせはこちらへ  
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ  
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル  
**»0120-580-503** 通話料  
受付時間:月~金(祝日・年末年始を除く)9:00~17:00

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を確実に未来へのこします  
障がいのあるお子さまの親御さまは、「親なきあと」の生活が心配のことだと思います。「未来あんしんサポート」は、「親あるあいだ」に「親なきあと」をご準備いただくためのご提案です。

「生命保険信託」の仕組みによって、親御さまがお亡くなりになられた場合にFWD富士生命がお支払いする保険金を、みずほ信託銀行がお子さまのための財産として管理しながら、定期的にお子さまにお届けします。

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポートリーフレット」をご覧ください。●株式会社ジェイアイシーは個人情報の収集に関する基本方針と個人情報を扱うプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株式会社ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2018年6月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。

「未来あんしんサポート」とは、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

## さいたま市職員研修 P&Aで参加

今年度のさいたま市障害福祉課が企画開催する「さいたま市職員研修」に講演依頼を頂きました。十月二十九日さいたま市職員研修センターにて午前と午後の二回の講演です。

まず初めに大学教授による障害者差別法等の法律を元に、障害のある人の置かれている立場や、これから各職場で配慮が必要となってくる事を、詳しくお話を頂きました。

次に、視覚障害を持つ当事者の方の日常生活で、必要になるサポートや対応についてのお話を聞きました。視覚障害の方には直接何が必要なのか聞く事が一番大切な事で、ご本人に添つた支援に結びつく事を熱く語っていました。

最後に私達の発表になりました。Hさんの優しい語りから知的障害の概要を語つて頂き、その後ピカチューの登場です。

## 息子が避難所体験

昨年台風十九号による大雨で、息子のいる入所施設とG.H.が被害に遭いました。駐車場は池のようにになり建物も2mくらいの床上浸水という大きな災害に見舞われました。幸い早めに避難をしたので、混乱はあつたようですが全員無事でした。

みんな一緒にということで、避難先が次々と変更になりました。

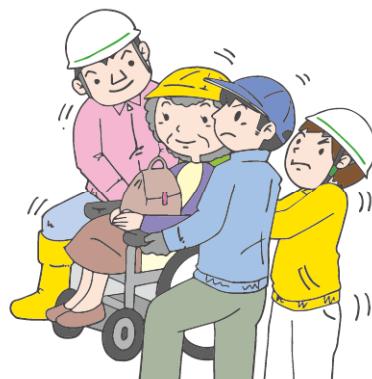
現在は市が提供してくださった「総合福祉センター」という少し安心できる場所に落ち着きました。寒さに向かう時期で、体育館に布団を並べて雑魚寝の生活は職員利用者共に苦難の一言です。

それでも利用者の生活は、日中は福祉施設の皆さん達がたくさん応援に来てください、職員と共に色々と支援してくださいました。

二ヶ月余り避難所と自宅で半々くらい過ごましたが、地域で入所施設が受け入れの声を上げました。

- その後の様子
- 三月二十五日やつと元の施設に戻りましたが、コロナの影響で親の出入りは禁止になり職員さんだけでの引っ越しとなりました。

阿久津



黒澤

原材料は、雪、雨、風。  
そして、シャスタという大地の力。  
人間だけでは決してつくれないものがある。

Power of Nature

ここ、シャスタの山から。



## 岩槻本丸公民館企画講座 「要配慮者優先避難所ってどんなところ!?

企画の準備段階から参加して私達の声も入れて頂き、十二月十四日開催されました。

昨年はさいたま市でも水害被害があり、より身近な話題でした。参加いただいた本丸近辺の自治会長さん・高齢で水害の日に近辺を車で避難場所を探して回った方、家族に障害のある人を抱えている方等二十名程の参加がありました。

昨年はさいたま市でも水害被害があり、より身近な話題でした。参加いただいた本丸近辺の自治会長さん・高齢で水害の日に近辺を車で避難場所を探して回った方、家族に障害のある人を抱えている方等二十名程の参加がありました。

以前開催された鴻沼福祉会理事會藤氏の「東日本大震災時の障害のある人の避難状況」を講演された時の資料を参考にして、障害のある人の避難時に気を付けて頂き、私達らしく出来た事は自信に繋がりました。

次ページへつづく

黒澤

お話の中からも課題が出て来て、高齢者・障害のある人の避難の難しさと課題も見えた講座になりました。

公民館からは、避難所の備品や電源がありますが、多数の方が避難した場合など、電源量が少ないので、電動器具をお使いの障害のある方は、予備の電源をお持ち頂きたいとの話でした。

講座終了後、避難先で提供される予定のアルファ米の五目御飯と白米を皆さんで試食させて頂きました。参加者からは、今回だけでなくまた企画してほしいとの声が上がりました。

災害時についての話し合いが、他の地域でも行われる事を期待します。

## ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障害者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



### ★居宅介護（ホームヘルプ）

入浴・排泄・食事の介護など

### ★行動援護

行動上著しい困難を有する知的障害者（児）  
精神障害者の外出の介護・危険回避のための援護

### ★移動支援（ガイドヘルプ）

余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



### ★ヘルパー募集中

一般社団法人 飛躍  
ヘルパーステーション ほっと  
さいたま市大宮区天沼町2-813  
☎ 048-649-5703